

2024年4月4日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社  
(東証プライム / 証券コード: 3762)

## PSP、キヤノンメディカルシステムズ、エムスリーAIによる 医療 AI 推進のための業務提携締結のお知らせ

当社の連結子会社（持ち株比率：50.2%）である PSP 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：依田佳久、以下「PSP」）は、キヤノンメディカルシステムズ株式会社（本社所在地：栃木県大田原市 代表取締役社長：瀧口 登志夫、以下「キヤノンメディカルシステムズ」）およびエムスリーAI 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：杉原 賢一、以下「エムスリーAI」）と、医療 AI を活用したヘルスケア IT 事業の協業において業務提携することに合意いたしましたので、お知らせいたします。

今回の業務提携により、PSP とエムスリーAI が共同で推進している AI プラットフォーム「NOBORI PAL AI」(\*1) をキヤノンメディカルシステムズと販売連携いたします。具体的には、キヤノンメディカルシステムズの「AI 解析技術」や「3D 処理技術」のライセンスを、PSP が有する「DICOM ビューアーソフトウェア」(\*2) にて提供することで、画像診断における読影品質のさらなる向上と効率化を目指します。また、「NOBORI PAL AI」を、キヤノンメディカルシステムズを通じて提案することが可能になったことにより、今後、生活者、医療機関、地域社会等に対して、医療 AI を活用できる環境の提供を実現していきます。

高齢化による疾病構造の変化や医師の働き方改革等、国内の医療を取り巻く環境は厳しさを増す中、医療現場に山積する課題を解決するべく、今回の業務提携を通じて三社の強みを活かした医療現場の DX 化を推進し、持続可能な医療環境づくりに貢献してまいります。

\*1 NOBORI PAL AI [https://www.psp.co.jp/service/nobori\\_pal.html](https://www.psp.co.jp/service/nobori_pal.html)

\*2 DICOM ビューアーソフトウェア [https://www.psp.co.jp/application/solution\\_evr.html](https://www.psp.co.jp/application/solution_evr.html)

2024年4月4日  
PSP株式会社**PSP、キヤノンメディカルシステムズ、エムスリーAIによる  
医療 AI 推進のための業務提携締結について**

PSP株式会社（本社所在地：東京都港区、代表取締役社長：依田 佳久、以下「当社」）は、キヤノンメディカルシステムズ株式会社（本社所在地：栃木県大田原市 代表取締役社長：瀧口 登志夫、以下「キヤノンメディカル」）およびエムスリーAI株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：杉原 賢一、以下「エムスリーAI」）と、医療 AI を活用したヘルスケア IT 事業の協業において業務提携することに合意しました。

当社は、エムスリーAIと共同で推進している AI プラットフォーム「NOBORI PAL AI」について、キヤノンメディカルと販売連携します。さらに、キヤノンメディカルの「AI 解析技術」や「3D 処理技術」のライセンスを、当社が有する「DICOM ビューアーソフトウェア」にて提供します。

当社は、DICOM規格が制定された当初から常にユーザに寄り添った PACS（医用画像管理システム）の自社開発を続けているほか、医療情報をより安全に保管・活用・共有できるクラウド型 PACS に於いては、日本市場のパイオニアとして 2012 年導入以来、1300 超の医療機関でご利用いただいています。更に、RIS（放射線情報システム）、遠隔画像診断インフラ、被ばく管理システムなどの幅広いソリューションを通じ、読影現場の質の向上・効率化に向けた支援を行ってまいりました。

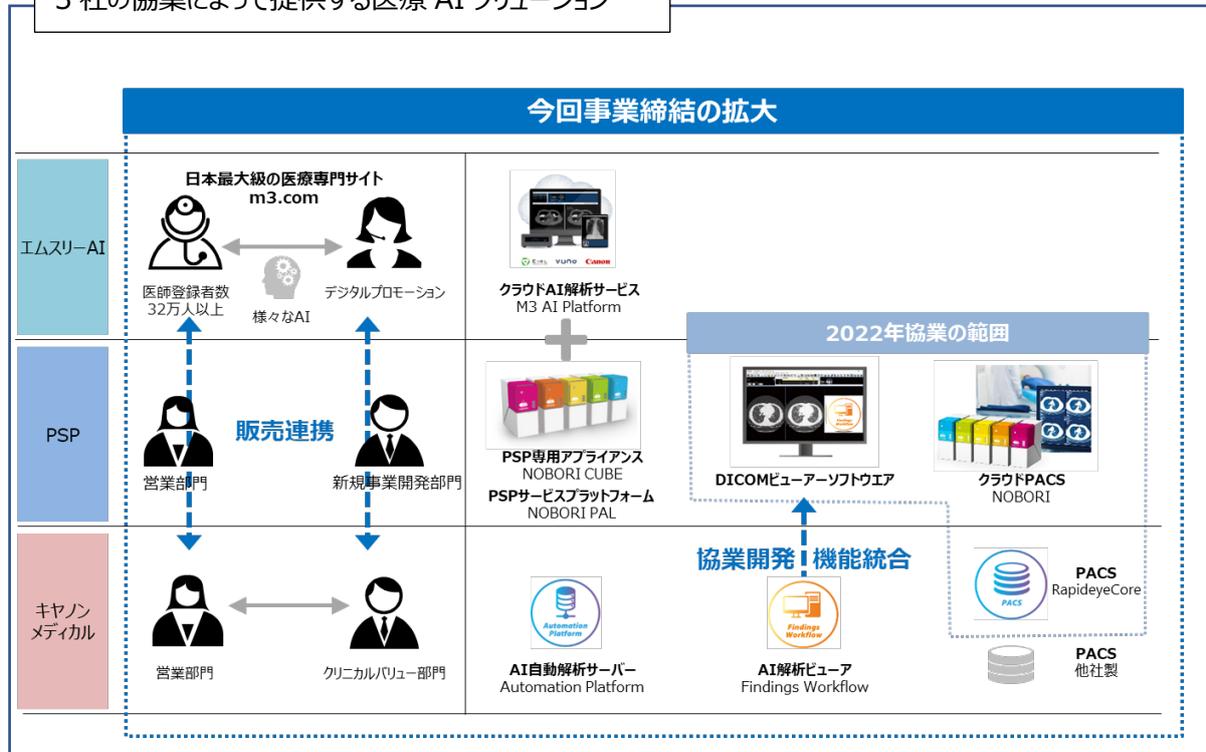
当社とキヤノンメディカルは、2022 年 4 月にヘルスケア IT ソリューション事業にて協業（※<sup>1</sup>）を開始し、当社の「DICOM ビューアーソフトウェア」、「クラウド PACS」、キヤノンメディカルの「読影支援ソリューション」などの製品について相互供給を行ってきました。今回は、その連携の幅を広げ、当社の「DICOM ビューアー」においてキヤノンメディカルが有する AI 解析技術や 3D 処理技術を提供することで、画像診断における読影品質のさらなる向上と効率化を目指します。

加えて、当社の AI プラットフォーム上で稼働するエムスリーAI が提供する様々な医療 AI ソリューション「NOBORI PAL AI」を、キヤノンメディカルを通じて提案することも可能になり、より幅広いお客さまに医療 AI を活用できる環境の提供が整います。

国内の医療を取り巻く環境は、高齢化による疾病構造の変化、医師不足、依然続く新型コロナ感染症対策など、厳しさを増しています。さらに 2024 年 4 月より、医師の働き方改革が施行され、医療現場ではより一層の効率化が求められるようになりました。医療現場に山積する課題を解決するために今回の業務提携により、3 社の強みを活かし、医療現場の DX 化を推進することで画像診断医の業務効率を向上させ、より最適な読影支援ソリューションを提供していきます。

当社は、「医療情報をみんなの手に。そして未来へ。」というパーパスのもと、医療情報インフラの構築を通じて、生活者、医療機関、地域社会それぞれの「想い」をしっかりと結び、持続的な医療環境づくりに貢献してまいります。

3社の協業によって提供する医療 AI ソリューション※2



※1 [https://www.psp.co.jp/news/20220411\\_news\\_canon.html](https://www.psp.co.jp/news/20220411_news_canon.html)

※2 図出典：当社・キャノンメディカルシステムズ・EmSlee AI 各社ホームページより

【キャノンメディカルシステムズ株式会社について】

キャノンメディカルシステムズは、疾病の早期診断、早期治療のため CT、MRI、超音波診断装置、X線診断装置などの画像診断装置や体外診断装置、ヘルスケア IT ソリューションを開発、製造し、世界 150 以上の国や地域に提供しています。同社の経営スローガンである「Made for Life」(患者さんのために、あなたのために、そしてともに歩むために)のもと、病院経営に貢献し、患者さんに優しい医療システム・サービスをお届けし、これからも変わらず医療に貢献してまいります。

キャノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon/>

【EmSlee AI 株式会社について】

EmSlee AI は、病院からクリニックまであらゆる医療機関において多様な医療 AI を利用できる仕組みをプラットフォームとして提供し、2020 年 5 月のサービスローンチ以降、数多くの医療機関で利用を頂き解析を行ってまいりました。今後、更に優良な AI を取り揃え、多くの医療現場からの期待に応えることができるよう事業を推進してまいります。

EmSlee AI 株式会社：<https://corporate.m3ai.co.jp/>

**【PSP 株式会社について】**

PSP は、医療情報を安全に保管・活用・共有できるクラウド型を始めとする PACS（医用画像管理システム）、RIS（放射線情報システム）、PHR（パーソナルヘルスレコード）などの提供を行うヘルスケア IT ソリューションベンダです。当社のパーパスである『医療情報をみんなの手に。そして未来へ』を元に、利便性の高い医療サービスを提供して医療情報インフラを構築することで、患者や医療従事者、家族、地域社会の“想い”を共有し、持続的な医療環境づくりに貢献することを目指しています。

PSP 株式会社 : <https://www.psp.co.jp/>

**問い合わせ先**

PSP 株式会社 営業本部 販売促進課

Tel : 03-4346-3179 / Fax : 03-4346-3177

E-mail : [promo@psp.co.jp](mailto:promo@psp.co.jp)